

船穂のマスカット産地再建と地域ブランディング

GRAPE SHIP 株式会社 (岡山県倉敷市船穂町船穂7153-1)
TEL : 090-7138-2412 / URL : <https://www.grapeship.jp/winery/>



◀ 岡山の魅力発信 ▶

HPはこちら ▶



令和8年2月27日 現在



経営概要

経営面積

マスカット・オブ・アレキサンドリア70a (生食用40a、ワイン用30a)
シャインマスカット20a、赤ワイン用品種60a

事業内容

ぶどう生産・販売、ワイン製造・販売

代表者

代表取締役 松井 一智

労働力

正社員2名、雇用就農資金活用者1名、パート2名

取組の経緯

料理人として培った食への探求心と、フランス滞在中にワイナリーで接した「農業と醸造の世界」に興味を持ち、帰国後に就農先を模索する中、倉敷市船穂町でのマスカット栽培募集と地域の温かな受入れに触れ、産地の歴史と可能性に共感して就農を決意。



GRAPESHIPの社屋



マスカット・オブ・アレキサンドリアの棚



ワイン醸造タンクと製造されたワイン



取組内容

ブランドの回帰と文化継承

シャインマスカット偏重で薄れつつある「マスカット・オブ・アレキサンドリアの産地再建」を図るため、給食や体験等の食育を通じ、歴史あるぶどう文化を次世代に引き継ぐ取組に従事。

後継者育成と継承

研修生の独立支援を進めながら、園地確保、労務、販売などの実践ノウハウを体系化し、産地の維持と担い手育成を両立させるため、再現可能な就農モデルを構築。

栽培の工夫・食育

・園地毎の日照・排水・樹勢などの条件を分析し、ストレスのかかりやすい園地には黒ぶどうを導入するなど、収量・品質・経営のバランスを図る設計の下で、生食用とワイン用を栽培。
・種ありぶどうを含む食文化の継承を図るため、学校給食でのマスカット提供の復活を働きかけ、収穫体験やジュースづくりなど「記憶に残る入口」をつくり、地域内需要の創出と文化形成を進める。



今後の展望

- ・地域ブランディングの下、年間生産を増やす中、県内消費の拡大、都市部営業、輸出等の複線的な販路づくりを重視。また、需要と供給のバランスを睨みながら、加工醸造の仕組みを強化。
- ・ワイン事業での熟成・貯蔵スペースの確保のため、動線の最適化を含め、貯蔵庫の増設・拡張を早期に進めたい。